



森の守護神

# 森ボラ 通信

第161号 2015年10月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

### ◆オイスカ・ユネスコ植樹祭の報告

10月10日(土)秋晴れの中、6歳の子から上は云歳のお年寄までボランティアの皆さん63名が集まり支笏湖CGC鳥柵舞の森で秋の植樹祭を行いました。

当会員の棟方さんから植栽指導を受けた後、協会員の先導のもと6班のグループはクワ、スコップ、苗木袋を持って割り当ての植栽列に行き予め準備していたアカエゾマツ711本を植栽しました。汗をかきながら一生懸命の作業は1時間ほどで終了しました。子ども達にはいずれこの森を訪れて自分達が植えた苗木の生長に誇りを持って貰いたいと願っています。

今回はオイスカ北海道支部、札幌ユネスコ協会の皆さんそして前日にマーキング等の準備で奔走した16名の協会員の皆さんに感謝致します。今年度のCGCの森の植栽活動は無事終える事が出来ました。多岐に渡りご指導頂きました“みどりところの基金”谷口事務局長に感謝申し上げます。

(文・事務局)



### ◆NHK「ボランティアが守る老舗リンゴ園」

10月6日夕刻NHK“ほっとニュース北海道”の中継番組で斉藤リンゴ園が放映されました。



森ボラの仲間5人が脚立の上で収穫作業をしている場面を背景に斉藤園主と酒井が岩尾アナウンサーからインタビューを受ける設定で、ボランティアがいてこそ老舗のリンゴ園が今でも守られており三角山の景観も保全されているというストーリーでした。

添付のテレビ画面のように下の帯に大きく森ボラ名が入りました。(文・酒井)

## 活動報告

### ◆ 澄川南小3年生の第2回自然観察会 ～ マイツリーを決める！

四季を通じて森の変化を観察することで環境教育を推し進めている澄川南小学校3年生の自然観察会が、6月に続き9月8日に第2回目が札幌市澄川都市環境林で開催されました。当日は児童48名が先生の引率で森を訪れ、協会員3名が案内して樹木園に向かいました。

今回の課題はマイツリーの選定です。樹木園ではあらかじめ協会で12本の代表木を、樹名を伏せて選定してあり、児童たちは1班4名の12班に分かれて、代表木を参考に班ごとにマイツリーを選定しました。選んだマイツリーはその特徴をカメラに収め、実際の葉っぱを持ち帰って樹名を調べ、

選定理由を発表しました。そして次回(10月)に樹名板を掲げてマイツリーの成長を観察していく予定です。

さて、皆さん、児童たちの選定理由から何の木か判りますか。児童たちの目はやわらかく、あたたかいです。

◎ 木の皮が肌色でつるつるしており、皮がすーっとむけて綺麗で、葉がハートみたいだから。

◎ 小さくて、クリスマスツリーみたいでかわいく、葉のさわり心地が良かったから。

◎ 葉が全部ギザギザでおもしろい形しており、お花の形にも見えた。陽の当たっているのが濃い緑、当たっていないのが薄い緑だというのが面白いから。

(文・清澤)



どの木にしようかな。

(松浦武四郎の「歌オブナ林」より)

### ◆研修旅行・黒松内ブナ林紀行

幕末の蝦夷地探検家、松浦武四郎が東蝦夷日誌に、ブナノキタイ、これブナ多きがゆえ名づく。後ろウタサイ山有りと記している。歌オブナ林を含む一帯は昔からブナの多い所でした。

ところが、明治以降開拓が進むにつれブナは薪材として伐採され、また太平洋戦争末期、木製戦闘機のプロペラ材として、一部が伐られそうになったり、町の財政的事情から天然記念物指定を解除しようとする動きがあったりの歴史がありました。

ブナは温帯域に生育する落葉広葉樹で、千葉県と沖縄以外の45都道府県に自生しています。黒松内低地帯にある歌オブナ林は自生の北限になります(人の手によって植えられたブナが、士別、旭川、富良野、遠軽、厚岸、札幌等で育っているようです)。

= 歌オブナ林より =

今回の研修はブナセンター齋藤均学芸員の案内で、

一日目はブナ林再生プロジェクトを実施している現場に案内していただきました。

昔、薪として伐採され、今は一面ササの原になっている斜面に、上から何本かの筋を切り、山採りした稚樹を間隔を置いて密植し、伸長成長させる。ササを2m×5mでブロックして、稚樹に陽が当たるようにする。稚樹がササより大きくなり、頭を出せば後は自然に任せる。このような方法で、すでに3,000本から4,000本植えているという説明でした。

#### 二日目は歌オブナ林の見学。

入口から一段が5000年の時空を超える階段を10数段登ります。少し入ると昔、薪として伐採された後、萌芽になり今は手の付けようのない状態で放置された林が続く、また人が歩くことによって腐葉土が削られ、雨で流され、下の粘土が出てしまっているような所を過ぎ、いよいよ奇蹟と云われた歌オブナ林の大木に会えました。ブナの大木達は樹皮が灰白色あるいは暗灰色で滑らかで地衣類やコケが付いていて、モザイク模様が独特の美しさでした。

黒松内では、貴重な木の意味で、貴を使い、ブナを櫃と書くそうです。かつては腐りやすい、狂いやすい木材で商品価値が低かったのですが、今は加工技術が進み、家具やフローリング材として利用されているようです。(文・西野(澄))



## ◆歌オブナ林研修旅行雑記

ブナの木について

ブナは今までは用材として重要視されませんでした。薪炭としてまた木挽師の碗の材料としてしか使われていなかったようです。

ブナを碗等に加工したとき水分を吸いやすいため漆を塗らなければいけないそうですが、この事でブナを林に放置すると腐りやすいということに納得です。黒松内よりももう少し南の今金の川遊びのとき地元の話では昔はブナを炭にしたと聞きましたがこの話を聞いた時、ブナが炭になるような木かと疑問に思いましたが、歌オブナセンターでブナの木を持った時にその重量感であり得ると思えました。

ブナが縦に割りづらいとききましたが、薪にする時、あるいは炭に焼くときに縦に割りづらければブナより割りやすいナラの方を切るのが当然の事で、したがって日本古来よりブナは他の樹木よりも切られる割合が少なく純林、もしくはそれに近い林が日本各地に小規模ながら数多く残っていると思われまふ。もちろん自然に対するブナの優位性というのもあるでしょうが、ブナの純林が生物の多様性、特に哺乳動物にとって住みやすい環境とは思われまふ。

なぜなら数年に一度しかならない木の実を当てに生きてはいけなからです。それよりもナラやクルミ等の雑木林の方が食物として豊富と思いまふ。

ブナという言葉は北海道では秋に産卵のため川に上る婚姻色に変わった鮭をブナの皮のようにまだらになった様子からブナ鮭と言ひ、川に上った鮭は油も少なくうまい物ではありません。いずれホッチャレとなって一生を終えるでしょう。私にとってブナ=ホッチャレのイメージがありまた漢字も木に無と表され私には関心を引く樹木では有りませんでした。ブナセンターで触れたブナの感触、パイプオルガンの音色など多少ブナに対する考えが変わった事と思いまふ。(文・前地)



## ◆秋の清掃活動

10月5日(月)秋のゴミ拾ひ活動をしました。駐車場の南方向の東側道路約700mの路肩の清掃を行いました。豊平清掃事務所からの報告ではボランティア袋65袋分とその他大型ゴミは洗濯機1台・オイル缶1801ヶ・事務用椅子1ヶ・テレビ1台・掃除機1台・布団2枚・マットレス1ヶ・テレビブラウン管1ヶでした。洗濯機等の大型ごみの収集にはロープを使い引き上げ作業は大変でした。中には蔓類に絡まり回収出来ず来春に再度の収集となった大型粗大ゴミも散見されました。毎回この活動を通して確信犯的なポイ捨てに憤りを感じながら年2回の清掃活動が少しでも不心得者が減ることを念じた一日でした。毎回、清掃事務所の皆さんには集めたゴミの収集とゴミ毎の集計をして頂きに感謝申し上げます。(文・事務局)



## ■ お知らせ

### ◆2016年度から始まる親子森林教室”森しり隊”を募集しています!!

北海道森林ボランティア協会では、これまで行ってきた育林活動の経験を活かして、次代を担う小学校高学年(4~6年生)親子を対象に親子体験森林教室を2016年4月から始めます。詳細はホームページに掲載しております。森に興味のある親子の参加を期待しています。

## ◆2015 年度忘年会のお知らせ

- ・日時：2015 年 12 月 10 日(木)～11 日(金)
- ・会場：定山溪温泉「溪流荘」 札幌市職員共済組合施設  
〒061-2303 北海道札幌市南区定山溪温泉西 2 丁目  
(☎:011-598-2721)
- ・会費：10,000 円/人(12 月活動参加申込みで申込み下さい。)



## ■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野(悌)・矢澤・和田

- 11 月、12 月スケジュール・・幹事会 11 月 6 日(金)・・理事会議事録摺合せ
- 親子森林教室応募に向けての進捗状況・・札幌市教育委員会後援申請取得(10/20)
- 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・チェンソー講習受講 1 月三橋さん
- ローソン社員澄川体験学習(10/3)・・爆弾低気圧の為中止・・来春に延期決定
- 道民の森づくりネットワークの集い 2015(10/18) 野幌森林公園 開拓の村  
のこぎり体験とコスター焼印、火起こし体験、クラフト製作教室、ポット苗作成(クリ他)
6. 野外活動の確認  
10 月 9・10 日 烏柵舞 オイスカ・ユネスコ植樹祭 アカエゾマツ 800 本植栽  
10 月 17 日 東橋いちい幼稚園 園児 34 人 カミネッコン 37 鉢 (現地で昼食)
7. 委員会報告  
広報委員会(親子森林教室の応募掲載 10/20) 業務委員会(11 月稼働日の確認)  
助成委員会(幌南小花王助成後の対応は石狩管理署と植栽地選定で検討)  
冬期セミナーの件・・  
12/16 安全管理講習(森と緑の会に講師依頼予定) 1 月～3 月のセミナー講師の選定
8. その他  
・忘年会 12 月 10 日(木) 11 日(金)・・ボラ通 10 月号で案内  
・リンゴ園：NHK “ほっとニュース北海道” で放映・・ボラ通 10 月号で案内  
・研修旅行会計報告、9 月会計報告

## ■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
9 月 12 日(土)	リンゴ園	8	袋外し・葉もぎ
9 月 14 日(月)	澄川/リンゴ園	14/4	澄南小 3 年生林内散策・毎木調査/袋外し・葉もぎ
9 月 15・16 日	支笏湖烏柵舞の森	15/15	作業道整備・駐車場跡に補植(アカエゾ101、広葉樹124)
9 月 17・19 日	リンゴ園	6/7	葉もぎ
9 月 20 日(日)	澄川	8	ローソン植栽地(A-1) 下草刈り、50 本マーキング
9 月 22 日(火)	澄川	19	E-2 の萌芽処理・薪材の集材
9 月 24・25 日	リンゴ園	6/1	葉もぎ
9 月 25・26 日	研修旅行	22	黒松内町歌オプナセンター
9 月 26・28 日	リンゴ園	4/1	葉もぎ
9 月 29 日(火)	澄川/リンゴ園	12/6	光の泉園児 47 名カミネッコン植栽(C-4)/葉もぎ
10 月 1 日(木)	リンゴ園	8	収穫
10 月 2 日(金)	ラルズビル	13	定例幹事会
10 月 3 日(土)	澄川	12	ローソン活動低気圧襲来で中止・A-1 に広葉樹 50 本植栽